



2. 年始のあいさつ
4. 民間園長研修会
6. 育児相談研修会
7. ぶらんこ・園紹介

10. 保育園・こども園の社会貢献活動
12. 児童虐待防止静岡の集い
13. 支部だより
14. 委員会報告

📷 写真提供：富士市 すみれ認定こども園

# 会長挨拶



静岡県保育連合会会長

## 土山 雅之

新年明けましておめでとうございます。この四月より静岡県保育連合会会長に就任させていただきましたが、あつという間に新年を迎えてしまいました。皆様にご挨拶を申し上げるのが遅れてしまいました。なんとここまで無事県保連の各事業を進めてくることができました。歴代の会長の皆様は、ごなとも高い識見とリーダーシップを発揮され、静岡県の保育の発展に尽くされてきた方々ばかりです。果たして私がつとまるかどうか甚だ不安ですが、理事の皆さんや事務局の方々のご協力をいただいで、精一杯努めて参りたいと思います。

さて、本年は県保連が発足し六十周年を迎えます。たまたま私は四十周年記念誌と五十年記念誌の編集委員を務めさせていただいた経験から、これまで本場に多くの諸先輩方が苦勞して静岡県の保育を進展させてこられたという事を心より実感しております。いつ

の時代も静岡県の保育をより一層発展させるべく、その時代その時代に最大限の力を発揮されてこられました。私も微力ながらその先輩方の遺志を継ぎ、静岡県の保育の発展の為に、できる限りの力を発揮したいと思えます。県内の各保育園の園長も代替わりをして、全国で活躍する若手保育者、園長が出てきています。その若い力を存分に発揮できる環境を整え、全国で得たものを静岡県でフィードバックできるようにしていきたいと思えます。

十月には汐見先生と大豆生田先生をお招きしての六十周年記念講演も計画しております。昨年から施行された新保育所保育指針・保育教育要領の改訂に深く関わってこられたお二人に、昨今の保育について大いに語っていただき、皆さんに保育の本質、こどもの育ちについて改めて見直していただき、静岡県全体の保育環境をさらにより良いものにしていきたいと思えます。

さらに、子ども・子育て支援新制度がスタートして五年目の見直しで新しい公定価格も決まり、幼児教育・保育の無償化が十月から実施されました。処遇改善Ⅰとキャリアアップ制度と連動した処遇改善Ⅱのあり方、そして社会福祉法人法の改正による理事会、評議員会の新しいあり方等々、戦後最大の変革期を迎えている保育情勢にしっかりと向き合い、国の動向や保育の将来の姿について、皆様に少しでも早く情報を伝え、的確な判断ができる材料を提供していきたいと思っております。特に、キャリアアップ研修については、

県保連が県から委託を受けて実施しております。これは非常に手間がかかる大変な事業ですが、しっかりと講師をお願いし、現場の保育士に少しでもいい研修を受けていただき、静岡県全体の保育環境がより良くなっていくようにと考えてのことです。

いずれにせよ、このように保育制度や保育を取り巻く環境が大きく変革した状況の中、私たち保育所・認定子ども園は地域で最も身近な子育て支援の拠点として、より質の高い保育を実践し、子どもの育ちを保障していくためにできることは精一杯やるといふ姿勢で今後とも臨んでいきたいと思っております。ぜひ皆様方のご協力とご理解をお願いし私の年頭の所感とさせていただきます。

### 表彰

### おめでとうございます

令和元年度に、県内保育園・こども園関係者で、上部団体から表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

皆様の長年にわたる児童福祉へのご貢献ご功績が認められたものであり、心からお喜び申し上げます。

感謝と敬意を表しますとともに、これからも益々ご活躍されますことを祈念いたします。

### ◆全国保育協議会表彰

\*会長表彰

# 新年の御挨拶



静岡県健康福祉部理事（少子化対策担当）

長 田 雅 孝

新年明けましておめでとうございます。新年明けておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

保育環境を取り巻く大きな変化として、昨年十月からの幼児教育・保育の無償化が開始されました。多くの子育て世帯にとっては経済的負担の軽減となりましたが、保育の利用時間の増加による保育現場の負担増や、更なる保育ニーズの高まりへの対応も求められます。

県では、保育を必要とする全ての子どものため、引き続き市町と連携を図りながら施設整備を図るとともに、保育士・保育所支援センターによる就職支援や潜在保育士の現場復帰支援等を通じて、保育人材の確保に取り組んでまいります。

また、人材の定着を図るため、保育士が専門性を高めて働き続けられる仕組みとして、貴会のお力添えを頂き、平成三十年から保

育士等キャリアアップ研修を実施しております。さらに、昨年十月からは、保育現場における負担感の軽減のため、仕事の効率化や職場環境の改善を目的に、研修会や巡回支援による保育士等働き方改革推進事業を実施いたしました。

女性の社会進出が進み、人々の生活が多様化する中、子どもが健やかに育つために、保育所はなくてはならない存在です。保育士の皆様が専門性を磨きながら、やりがいを持って働くことにより、質の高い保育を持続的に提供できるよう、皆様と共に取り組んでまいります。

子どもは社会に希望と活力を与える「地域の宝」であります。皆様におかれましては、「子どもの最善の利益」のために御尽力いただいていることに改めて敬意を表しますとともに、引き続き県の保育行政に対して御協力をお願い申し上げます。

結びに、静岡県保育連合会の益々の御発展と貴会員の皆様の御健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



浦 京子

浜松市 初生保育園

岡 真由美

浜松市 初生保育園

\*特別感謝受賞者

後藤 弘明

富士市 富士保育園

浅井 哲朗

静岡市 月影保育園

◆日本保育協会会長表彰

\*永年勤続保育者表彰（施設長）

増田 博子

富士市 えのき保育園

\*永年勤続保育者表彰（職員）

鈴木 貴美子

静岡市 静岡隣人会保育園

渡邊 幸子

御殿場市 すみれ保育園

鈴木 晶子

浜松市 順愛こども園

疋田 葉子

浜松市 順愛こども園

古田 由貴

浜松市 順愛こども園

小林 智美

富士市 松岡保育園

◆全国私立保育園連盟表彰

\*保育功労賞

栗原 正明

島田市 くりのみ保育園

\*令和元年度\*

# \*民間園長研修会\*



日時\* 令和元年十月二十四日(木)  
十月二十五日(金)

会場\* ホテルセンチュリー静岡

秋深まりの小雨の日、二日間で行われ、東部中部西部の民間施設長一九〇人を迎え開催されました。テーマ『今こそ子どもの最善の利益を見つめ直す時』民間園長の資質向上を目指す』子どもの権利条約が国連で採択されてから三〇年が経過し、子ども・子育て支援制度も見直しの時期を迎えた今、園の役割はこれまで以上に重視されてきています。より質の高い保育・教育を提供し、かつ安定した施設管理を行うため、民間園長会の果たすべき役割を再認識し、研鑽をしました。

開講式には、土山会長より今年度の状況情報をお話していただきました。



一日目

【講義①】

『保育行政の動向について』

静岡県健康福祉部子ども未来課長

山本 智ひろ氏

先の台風一九号の被害状況や人口動態からの制度過程、消費税一〇%増税、幼児保育の無償化等新しい制度と合わせてお話を頂きました。

ひろ氏



【講義②】  
『質の高い保育・幼児教育に向けての現状と課題』

おおわだ保育園 理事長

馬場 耕一郎氏

少子化の進行と人口減少社会、堅い講義かと思いきや、ポイントを踏まえて軽やかな口調と活気でお話が進み、大変興味深く聞き入ることが出来ました。保育所保育に関する基本原則では、保育の環境で、安全の確保、温かな雰囲気の大切さを子どもの状況と合わせ

てわかりやすく説明して下さいました。今後の展望では、保育士の業務負担軽減に関する事業については、課題も見えてきました。



二日目

【講義③】

『子どもの最善の利益とは何か〜子どもも権利条約の原点 コチャック先生から学ぶ〜』  
一般社団法人日本保育者支援協会

スーパードバイザー

新保 庄三氏



「親になれからの支援のあり方についてお話がありました。子どもは、希望と夢を持って自分の世界に生きる、自らの個性を持つ人間です。改めて子どもについて十分な意識の中で育てられないければならない事に責任を持ちました。

懇親会では、各園同士の交流を深めることができ、貴重な時間と空間を共有いたしました。充実した研修会、今後には活かしていきます。

懇親会では、各園同士の交流を深めることができ、貴重な時間と空間を共有いたしました。充実した研修会、今後には活かしていきます。



# 育児相談研修会

期日

東部 令和元年十一月六日 (水)

中部 令和元年十一月十九日 (火)

西部 令和元年十一月十一日 (月)

会場

東部 沼津市民文化センター

中部 静岡音楽館AOI

西部 アクトシティー浜松

テーマ

「親への対応」話の聞き方、伝え方、話の引き出し方」

講師 ひととき保育高井戸

施設長

磯田節子氏



今年も育児相談研修会が東部・中部・西部の三会場で開催されました。この研修は保育所・認定こども園で相談業務に携わる職員に対し、保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる専門知識や技術等、実践的な能力を習得することを目的に、東京都にあるひととき保育高井戸施設長の磯田節子氏にお願いしました。



参加者全員笑顔で握手をする自己紹介から始まった午前の研修は、カウンセリングの定義や基本技法などを交えながら、保護者への対応で大事となる傾聴の基礎についてのご講義をいただきました。実際に磯田先生と参加者の対話実技があり、今後に活かせる大変有意義な学びとなりました。

午後の研修はグループワークが中心で、園で起こる事例を基に参加者同士が午前の講義で学んだ、傾聴やカウンセリング技法を用いて、ロールプレイを行いました。また、共同作業として、紙コップを使用したボウリングゲームやストローとはさみのみでより高いタワーをつくることにもグループで挑戦しました。ストロータワーづくりを通し、高く積み上げるのには土台が大事であり、保育士・保育教諭は人の土台を作っているということを先生のお言葉より学びました。

研修の終わりに磯田先生より、「自分ほど大事なものは無い。自分の社会性・人間力・専門性を高めること。自分を好きになり、自信を持ち、ともに学び合い、成長してほしい。一歩でも半歩でも前に進もうとすること。そうすれば仕事が楽しくなる。自身の目標を持つてもらいたい。」とのメッセージをいただき、明日への活力となる大変有意義な研修となりました。



## 富士市 松野こども園

今回は、富士市松野地区にあります松野こども園を訪問させていただきました。大きな工場が点在する山間の道をさらに上ると、きれいな園舎が見えてきました。小学校と中学校を道路に挟んで隣接する園舎が松野こども園です。松野地区の



富士川第二幼稚園と松千代保育園の機能を統合し、公立としては市内初となる幼保連携型認定こども園「松野こども園」が平成二十八年四月に開園しました。

旧富士川町は、国指定重要文化財の「古谿荘（こけいそう）」や富士山に鳥居を奉納する市指定無形民俗文化財の「岩淵鳥居講」など、世代を超えて、歴史や文化が長く受け継がれています。雄大な自然に囲まれた温かい地域性も特徴の一つです。

定員は、一六五名（二号七五名 一、三九〇名）通常保育以外にも一時保育や障害児保育、子育て支援センター「ルルン」の併設など地域の子育ての拠点として事業を展開

## 園長 鈴木かおり先生

しています。一階が乳児室と三歳児室、二階に四、五歳児室とホールがあります。

来園してまず、驚いたのが、園舎の設計です。二階建てになっており園舎はゆるやかな弧を描きます。空間をうまく使い、廊下も直線的で狭い印象ではなく奥に行けば行くほど広く感じました、開放感も感じました。部屋の中では、天井がとても高いのも印象的でした。一階の乳児室には保護者が直接部屋に入らずに前室で着替えや仕度ができる様に各自のロッカーが整備されていました。

恵まれた環境は園舎だけではありません。園舎のすぐ横には、地域の方の畑がいくつもあり、また園の敷地にも畑を作ったそうです。誰が育てているのですか？と尋ねたところ、

先生たちはもちろんですが、地域の方も手伝ってくださいます。と、園長先生。



道路を挟んで向かいに中学校その隣が小学校ということ、こども園のクリスマス会では毎年小学校の校長

先生と中学校の校長先生が交代でサンタさんをしてくれているとの事でした。定期的な小学校、中学校との懇談の場もあるということ、小学校との接続以上の幼小中接続が松野こども園では行われていました。

園長先生に「日々保育をしている中で、一番大事にしているもの何ですか？」と質問したところ、「子どもが健やかに育つためには何が必要なのか考えること、施設環境や地域の環境も大事だが、それより、人的環境が子どもたちにとって大きな役割を占めるもので、地域の子どもたちが毎日生き生きと生活できるように、日々保育をしています。」

取材のなかで、この地域のおよそ八割の子どもたちは松野こども園に通うとの話もありました。一級水系富士川と雄大な富士山が見守る松野こども園では、地域と園、保護者が一体となりまたさらに、小中学校との連携も



行っている環境は本心に理想的であると感じました。

最後に、年末のお忙しい中、快く取材を受けて頂き、園長先生はじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。有難うございました。

## 焼津市 ゆりかご保育所 所長 奥川恵美子先生

ゆりかご保育所さんで頂いた「Love & Smile 子育ての道」沿革を見ると昭和五十一年「ゆりかご託児所開設」とあり、昭和五十二年法人化から約四十一年間の年表に、「開設」「開所」「新築移転」「改築」「増築」「事業開始」の文字ばかり。現在は児童福祉施設六。老人福祉施設四。障害者就労継続支援B型施設三。となっています。確かに子育ての基本方針には「常に地域の福祉サービスを把握し、新たな事業展開に取り組む」とあります。「地域の声と自治体からの要請を受けていたらいつの間にかこうなっていた」と、理事・所長の奥川先生はおっしゃっていました。



さて、今回おじゃましたゆりかご保育所ですが、まずはお給食の事を伺いました。給食室が幼児棟、乳児棟と二つあるのも便利でいいなと思いました。R1を毎日飲んでいたり、こだわり味の味協同組合の納豆をとにかく毎日食べ



ていたり。(ご飯の日はもちろん、パンなどの日もシューマイの皮でくるみ納豆揚げにして食べているそうです)また、地元焼津の工場で作ったばかりのなまり節を玉ねぎと醤油でさつとあえておかずにしたたり、メニューも個性的で工夫が見られました。主活動も、リトミック・運動遊び／サーキット活動・絵画／造形・英語・茶道と多種多彩でした。子どもたちのお着換え(布おむつも含め)を毎日、園で洗濯してくれたり家



庭の強い味方でもありました。障害のある子どもと一緒に過ごします。「子どもたちはなんでも食べられる健康な身体と、思いやりの心をもち、人の話を聞ける、メリハリのある子に育ってほしい」という開所以来の所長先生の思いが詰まった保育所でした。その思いを副所長先生はじめ、保育士さん、給食さん職員一同が保育・福祉の気持ちこめて保育実践をしている様子が良く判りました。お忙しい中、取材の時間を作っていただき有難うございました。〈遠洋漁業の元漁師さんだった、理事長先生の体験を基にした絵本「タツジの海 マグロをとりに」も頂きました。〉

# ふんこ

## 湖西市 なぎさ保育園

園長 高柳 陽子先生

今回、西部地区は湖西市出入にあります、「なぎさ保育園」を訪問させて頂きました。なぎさ保育園は、社会福祉法人天童厚生会の施設で、昭和五十三年に開設し、今年で四十一年目を迎える、湖西市内で最初に建った私立



の保育園です。定員は、九十名です。保育園周辺の立地は、漁港が近く港町の雰囲気を感じる丘の上にあります、山に囲

まれた自然豊かな、とても素敵な場所でした。日々の保育の中で取り組んでいる『感性豊かに「生きる力」をそなえた子どもを育てる為に』を理念に、特色ある活動をされています。その中で特にサッカーは、専門コーチの指導のもと、他園との交流を含めた試合を体験しています。

また、自然活動にも力をいれており、厚生会バスを利用し、園外へ出かけたり、サンクチュアリジャパンと協力し、海ガメ放流や園周辺の自然を生かして野鳥観察を行うなど、

普段の生活の中では味わえないような体験をされています。海が近い事もあり、園にはカニが遊びに来るそうです。園庭にはいろいろな種類の木々が植えられ、四季を感じるこ



とができます。今年は、ハナミズキに、鳥が巣を作り、ヒナがかえりました。そして、絵本と給食のコラボレーションを実施しており、絵本と繋がりがあ

る食を提供すること、子どもたちがより食事に興味を持てるようにしていただきました。

園長先生との取材の中で、卒園児との関わりについてもお話しを聞かせて頂きました。

タイムカプセルを実施しており、卒園後六年たつと園に集まり、タイムカプセルを開いて、当時を懐かしむなど、とても心温まる活動をされていました。また、新一年生とは、年長の時、味噌作りを行い、その味噌で毎年、豚汁や肉みそうどん等を作りみんなで味わっているそうです。それもまた、素晴らしい取り組みをされていると思いました。

保護者の中にも卒園児が多くいて、そのお子さんがまた園を利用して下さっている現状を見ると、とても暖かい家庭的な雰囲気を感じられました。

発表会を控えたお忙しい中、快く取材を受けて頂き、園長先生はじめとする職員の皆様には心よりお礼申し上げます。有難うございました。





# 保育園・こども園の社会貢献活動

## 市民福祉まつり

富士市市民福祉まつり実行委員会

令和元年十月二十日(日)富士市中央公園西側イベント広場において、第三十九回市民福祉まつりが開催されました。「であい・ふれあい・わかちあい」をテーマに掲げ、福祉・バザー啓発・子ども・ステージの各部門に福祉等に携わる団体や事業所などが百近く参加。趣向を凝らした多彩な催しを繰り広げ、多くの来場者にノーマライゼーションの理念と誰もが安心して共生できるまちづくりの大切さを伝えました。

富士市社会福祉協議会を中心とした実行委員会が主催。ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よく触れあえる場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりを目指すことを目的とし、手話・アイマスク・車いす・要約筆記などの体験コーナーを開設。子どもから高齢者まで幅広い世代の来場者が体験を通して、身体の不自由な人への理解を深めました。模擬店も多く出店。焼きそばやパン、熊本物産などで多くの人で賑わいました。

市内の公私立保育園は、ステージ・子どもを担当。今年のステージは公立保育園の保育

士によるダンスで開幕。子ども部門は民間保育園がストローひこうき・ネックレス・お面折り紙などのコーナーを作り、親子で触れ合い楽しい時間を過ごしました。



## 保育フェスタ2019

浜松民間保育園長会

令和元年十一月二日、ザザシティ浜松中央館において第六回「保育フェスタ二〇一九」を開催いたしました。来賓に浜松市子ども家庭部の金原栄行部長、浜松市議会柳川樹一郎議長をお迎えし加盟園の職員、園児、保護者を含め六〇〇人を超える来場者が訪れる盛況ぶりでした。

六階浜松こども館ホールでは、開会式で園長会中村会長のあいさつの後、来賓から祝辞をいただきました。その後、加盟園の園児たちによるステージパフォーマンスとして、ダンスや歌の披露が行われ、元気いっぱいに行う子ども達の姿に大勢の来場者からたくさん拍手をいただきました。

五階のここ・いらでは、中区は育児相談ブースとお宝釣り、遠鉄百貨店内での写真展、東区は親子の木工作体験、西区は絵本を題材とした表現活動、南区は折り紙、廃材あそび、北区は伝承遊びと食育パネル、浜北・天竜区は手作りおもちゃ、レシピの紹介。と市内各区に分かれて親子遊びをメインにブースを展開しました。どのブースも楽しそうに参加する親子でにぎわいました。

又、協賛していただいた浜松こども館より家族無料招待券を提供していただいたこともあり、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に来場し、楽しむ姿も見られました。

今後もフェスタを継続していき、加盟園がそれぞれ行っている子育て支援の広報と、親子で楽しめるイベントを提供し、地域の子育て世代を応援してまいります。



## 保育まつり

島田市民間保育協会

令和元年十一月十六日（土）島田市帯通りで、真つ青い空、風もなく好天のもと、保育まつりが開催されました。

オープニングでは、中央ステージに於いて保育士とともに子ども達がのりのりでパブリカを踊り、盛り上がり始めました。

「体験コーナー（カード立て・どんぐりコマづくり）」「ゲームコーナー（さかな釣り）」「赤ちゃんコーナー（絵本・大型遊具・手型スタンプ）」「給食コーナー（島田汁）」「ステーションアトラクション」「情報発信」の各コーナーを十五園が担当し、楽しそうに参加する親子で賑わいました。

特に、レタス・生シイタケ・大根等の地元の野菜・最後にお茶の粉を振りかけた島田汁には、近所の方もたくさん試食して下さり、笑顔がいっぱい見られました。

四百人を超える来場者が訪れ、親子の関わり、保育士と子ども達との関わり、ご近所との関わり等、素敵な時間を過ごすことができました。

商店街の皆様にも、「賑やかでよかったっけよー」と気持ちよく迎えていただき、ありがたく思っています。今後も、保育園の魅力を地域に発信し、子育て支援の拠点となっていきたいと思っています。



# 第十一回 児童虐待防止静岡の集い

## 189(いちはやく)ちいさな命に 待ったなし

十一月九日「第十一回児童虐待防止静岡の集い」が開催されました。この集いは、「児童虐待防止・社会的養護の充実」という課題に対して、県内の行政機関と民間関係団体が一体となって、広く県民に感心と理解を得るために毎年十一月の児童虐待防止月間に行われています。

第一部の基調講演では、関西大学人間関係学部教授の山縣文治さんから「現代社会と子ども・子育てく子ども虐待と地域住民のかかわり」と題して講演をいただきました。

講演の中で、虐待の種類には、身体的虐待、ネグレクト(育児放棄)、心理的虐待、性的虐待等があり、虐待や虐待の疑いを発見した時の対応として、気づいた人には



市町村、児童相談所、福祉事務所等への通告の義務がある。児童福

祉施設の職員や学校の教職員、医師、保健師等は、通告の努力義務となり、また必要な場合には間に入る人として児童委員が対応する、とのお話がありました。

虐待の発生要因には、子どもの要因、親子関係の要因、社会の要因があり、具体的には



子どもの要因としては親の期待、DV・家庭内孤立、ステップファミリー、低所得などがあり、親子関係の要因としては子どもより自分の楽しみ

を優先した生き方、予期しない妊娠・出産、歓迎されない結婚・出産、養育能力、意識の不足など、また、社会の要因としては、個人の生き方を尊重する社会、情報が正しい社会、豊かさを「物」に求める社会などがあげられました。

子ども虐待の支援で大切なこととして、「辛

い」と「楽しくない」との中間の「しんどい」という部分で子育て放棄、自暴自棄が発生する。人は皆楽しく生きたいと思っているが、楽しさは人によって違うので、支援は個々の状況に応じた対応で良いという事でした。

街頭パレードは静岡市民文化会館から静岡市の繁華街にある小梳神社までを県立静岡商業高等学校音楽部を先頭に、静岡県副知事をはじめ県幹部及び静岡市、浜松市の幹部職員や各児童相談所長が続き、共に市民に児童虐待防止を訴えました。



さらに今年で五回目となるオレンジリボンを着たすきりレーが県保連の選抜メンバー五名により行われ、街頭の多くの県民に児童虐待防止を呼びかけ、大きなインパクトを与えて無事終了することができました。

子ども虐待の支援で大切なこととして、「辛

## 東部支部

支部長 中里保育園 青野貴芳

### 一、総会及び施設長研修会

期日 令和元年五月十四日(火)

会場 沼津市民文化センター 大会議室

講師 有田正規氏(国立遺伝研究所教授)

### 二、中堅保育者研修会

期日 令和元年八月二十九日～三十日

会場 三島市立箱根の里少年自然の家

講師 松原美里氏(ウメハナリレシヨンス代表)

畑 直樹氏(クレーブラット代表)

### 三、保育の日研修会

期日 令和元年十月十九日(土)

会場 御殿場市民会館

講師 高山静子氏(東洋大学教授)

トータルテンボス(よしもと所属)

### 四、民間部会県外施設視察研修会

期日 令和二年一月二十三日～二十四日

視察先 海老名市 さくらい幼稚園

江戸川区 ルンビニー保育園

### 五、新規採用予定職員研修会

期日 令和二年二月二十六日～二十七日

会場 三島市立箱根の里少年自然の家

講師 勝又ひでこ氏(アツプハート代表)

長澤弘子氏(メディアアリテラシー代表)

### 六、行政部会

日時・会場 未定

### 七、青年部企画研修会

日時・会場 未定

## 中部支部

支部長 一番町保育園 海野美代子

### 一、総会及び施設長研修会

期日 令和元年五月十七日(金)

会場 静岡県総合社会福祉会館

講師 関西大学 人間健康学部

教授 山縣文治 氏

テーマ 「子どもの人権と保育の質」

### 二、職員研修会

期日 令和元年六月十九日(水)

会場 日本平動物園

テーマ 「五感を磨き、高い感性の保育者を目指して」

### 三、中堅保育者研修会

期日 令和元年九月十三日(金)

会場 静岡県総合社会福祉会館

講師 ウメハナリレシヨンス

代表 松原美里 氏

テーマ 「子どもを真ん中に保育者がしなやかに輝くコミュニケーション」

### 四、新規採用予定職員研修会

期日 令和二年二月十八日(火)～十九日(水)

会場 静岡県立焼津青少年の家

### 五、各地区・青年部会事業

各地区・青年部会の事業計画に基づいて実施

## 西部支部

支部長 ルンビニー保育園 岡田泰稔

### 一、総会及び施設長研修会

期日 令和元年五月十三日(月)

講師 社会福祉法人松溪会

理事長 武居 敏 氏

テーマ 働きやすい職場と人材育成

### 二、男性職員交流研修会・中堅職員研修会

期日 令和元年七月十九日(金)

講師 E!ComWorks株式会社

代表取締役 山本 衣奈子 氏

テーマ 「より良い教育・保育現場を実現させるために」～「伝える」から「伝える」へ仕事を楽しくするコツ～

### 三、初任職員研修会

期日 令和元年九月十二日(木)

講師 社会福祉法人任天会 日吉の森保育園

施設長 脇淵 爾良 氏

テーマ 「積み木と保育」

### 四、小児医療研修会

期日 令和元年十月三十日(水)

講師 かわだ小児科アレルギークリニック

管理栄養士 久保 愛 氏

テーマ 「保育施設における食物アレルギー対応」

### 五、新規採用予定職員研修会

期日 令和二年二月十九日～二十一日

## 各支部だより

～活動の報告と計画～

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

近年、これまでにない大きな制度改革が続き、本年度も幼児教育・保育の無償化という大きな出来事がありました。

各施設は、こうした一連の動きに対応を迫られながらも、地域で最も身近な子育て支援の拠点として、子どもの育ちを保障し、地域の子育て文化を育んでいくため、日々奮闘していることは、みなさまご承知の通りです。保育連合会は、各施設が十分な力を発揮できるように、次の八項目を静岡県に対して要望しています。

- ① 保育標準時間認定児の保育利用時間の長時間化に対応した職員配置の改善を要望します。
- ② 乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職員配置の改善を要望します。
- ③ 調理員の配置数の改善について要望します。
- ④ 保育体制強化事業と保育補助者雇上強化事業の柔軟な運用を要望します。
- ⑤ 保育士確保及び定着促進のための環境改善支援策を要望します。
- ⑥ 年度途中入所サポート事業の継続について要望します。
- ⑦ 東海地震等大震災に対する安心・安全な施設の充実が図られるよう要望します。
- ⑧ 産休等代替職員雇上事業の補助基準額の増額について要望します。

加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に対して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度の視察は、令和元年六月三日（月）～七日（金）三泊五日の日程でフィンランドに行ってきました。二九名の参加でした。

フィンランドは近年、OECD学力定着度調査において世界のトップという記録を持っています。この評価が目標ではなく「教育こそが国家の貴重な資産」と謳っており、すべての子どもが平等に教育を受けることが重要と、国家教育委員会が義務教育から成人教育まで一貫してかかわっています。訪ねた保育園では、住宅街にあるエスポー市立の保育園です。（一歳～六歳 定員一〇〇名）子供の成長発達、興味関心、思いに合わせて小グループでの活動をしています。毎日外で過ごす時間が大切にされています。森へのお散歩は雪の季節にも行われています。滞在中は夜十時を過ぎても明るく、一日の活動時間が長く、見学、学び、フィンランド歴史についても知ることができました。また、公共の場、友人、家族と過ごすとき、会話を楽しみ、携帯片手にとり姿を見なかったことも印象的でした。

次年度は六月初旬ハンガリー視察を計画中です。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としてあります。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。啓発品についてご案内、ご協力いただいている、「あいあいホットマーク」のクリアファイル（イエロー）を作成しました。同じくピンバッチのご用意もあります。お申込みでない方も、施設長研修会などご協力いただけますのでよろしく願います。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度の下期予定研修も民間園長研修会、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

さて、「新制度施行後五年の見直し」に係

子ども・子育て会議が国で開催されております。この五年間での社会の変化や経過措置となつている事項など、多くのことが議論されております。各市町においても同様かと思ひます。今回の見直しが保育の質の向上につながり、子どもたちの幸福へとつながるよう、我々も目を光らせて行きたいものです。

研修委員会としましては、この制度の転換点としてふさわしい研修と、保育の質の向上につながる研修を予定しております。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会（グランシップ静岡）  
令和二年一月三十日（木）

○新規採用予定職員研修会

令和二年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

### キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

今年度の「静岡県保育士等キャリアアップ研修」も十月十二日実施予定であった「保健衛生・安全対策」分野の一項目が台風十九号の通過により延期されたものを除き、予定通り開催することができました。延期になった項目は二月に振替開催いたします。

今後の研修開催につきましては、静岡県子ども未来課との調整をはじめ、正副会長会・キャリアアップ委員会で協議を重ねた結果、

次年度は引き続き県保連が静岡県からの受託を受け実施していくことが決まりました。研修会申し込みなどシステム化しましたが、キャリアアップ研修の本来の目的である保育の質向上につながる内容になるよう検討を重ね計画しています。

引き続き会員園の皆様にはご理解とご協力よろしくお願いいたします。

### 青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

昨年は青年部役員の改選の年となり、各支部ともに新たな顔ぶれを迎えての一年となりました。シンポジウム等での役員の活躍を見ていると大変心強く、今回も信頼の厚い方々に恵まれたことを改めて感じました。お力を貸して下さった役員はじめメンバーの方々に感謝申し上げます。青年部としても今年がまた飛躍の年となることを期待しています。

幼児教育・保育の無償化や量的拡大による影響、待機児童の地域差、人材難などまだまだ課題は山積しています。これからも若い力と柔軟性をもって対応し、子どもを中心とした保育を進めていくとともに、互いが自己研鑽し、そして協働できる組織であるよう意識の向上に努めたいと思います。

### 実績報告

六月十四日 青年部総会及びシンポジウム

「保育の環境を考えよう」  
九月四日～六日 全国青年保育者会議  
滋賀大会への参加

### ●今後の予定

二月予定 西部支部研修会  
五ヶ園での公開保育を予定しています  
三月予定 中部支部研修会  
県外園への視察研修等を予定しています  
未定 東部支部研修会  
講師を招いての講演会を予定しています

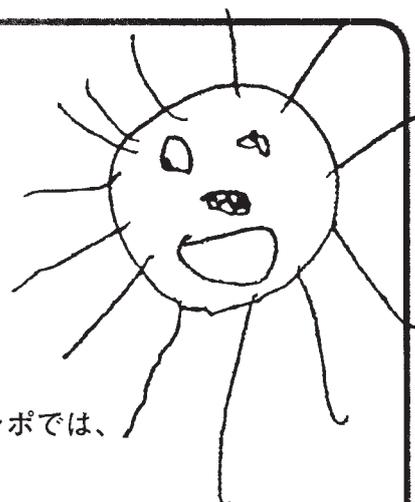
### 広報委員会

委員長 増田俊一

広報委員会は、機関誌「ほいく静岡」を年二回（夏号・冬号）発行しています。今号では、県保連土山雅之会長、静岡県健康福祉部少子化対策担当長田雅孝理事の念頭挨拶のほか民間園長研修会、育児相談研修会の報告、各支部の園を紹介する「ぶらんこ」を掲載しています。その他保育園の社会貢献や児童虐待静岡の集いへの取り組みも紹介しています。

「平成」が終わり「令和」の時代が始まりました。十月からは幼児教育・保育の無償化がスタートしましたが、委員会では当面する課題についても的確な情報をお伝えしたいと考えています。また表紙・裏表紙に掲載する各園の写真も募集していますので、よろしくお願ひいたします。

# 園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
公益社団法人全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
各種保険を取り扱っております。

## ほいくのほけん

「園賠償責任保険」  
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」  
「特別保育事業賠償責任保険」  
など、園経営におけるリスクに関する保険を  
ラインナップしています。また、それらを総合的に  
補償するセットプランもご用意しております。

## 園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する共済制度  
(総合生活保険(こども総合補償))です。  
団体契約による割引の適用で割安な掛金で  
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。  
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

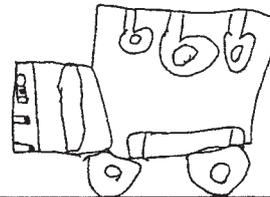
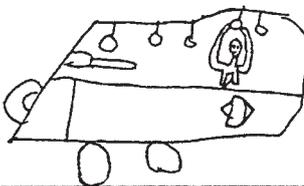
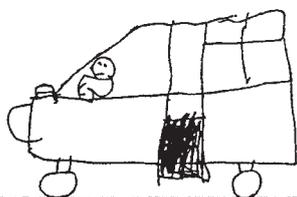
〈連絡先〉 公益社団法人全国私立保育園連盟指定  
東京海上日動火災保険株式会社代理店

## 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉  
東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 文教公務室  
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害  
保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(こども総合補償)の概要について  
ご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパフレットをご覧ください  
ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする  
保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険  
会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要  
事項説明書」をよくお読みください。



# 紙から創る、コミュニケーション

<http://dainichi-p.co.jp>



自社製造のメモ帳専門メーカーメモ工房。年間 500 万冊以上の実績。販促、ノベルティに最適なメモのことなら大日三協(株)のメモ工房へ！



**大日三協株式会社**

静岡県静岡市葵区流通センター12-1  
TEL:054-263-2435(代)・FAX:054-263-2409

その他にも色々なメモ帳をご用意！

メモ工房 検索

さまざまな危険からお子さまをお守りする

## 『園児総合保障共済制度』

### AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか予想もつかない事故の、確かな“まもり”として本制度をお届けいたしております。

静岡営業支店 〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-1  
富士火災静岡ビル5階  
☎: 054-686-1150  
浜松支店 〒430-7715 浜松市中区板屋町111-2  
浜松アクタワ-15階  
☎: 053-454-0321  
沼津支店 〒410-0801 沼津市大手町2-10-14  
三井生命沼津大手町第2ビル2階  
☎: 055-963-8081



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、  
保育環境の未来を提案する。  
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **シヅクエツ**

求人掲載  
完全無料!!

採用お困りではないですか?



保育士求人

採用のことなら/  
**保育情報どっどこも**

保育士/幼稚園教諭/看護師/栄養士/英会話講師

登録者数

57000名

まずはお気軽に  
お問い合わせ下さい♪

保育の人材紹介・派遣なら>>0120-777-277

さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう! [www.tobutoptours.co.jp](http://www.tobutoptours.co.jp)



“Warm Heart”  
~ありがとうの連鎖を~



東武  
トップ  
ツアーズ

静岡支店

〒420-0859

静岡県静岡市葵区栄町3番1号

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F

TEL.054-255-1919 FAX.054-252-9509

こどもの笑顔がみたいから

安心・安全な  
保育園用おやつ



全国の保育園から  
お使い頂いています



株式会社サンワールド

<静岡支店> 〒421-0121 静岡市駿河区広野2-10-17

TEL054-256-6332 <http://www.sunworld-honsha.co.jp>

# 社会福祉法人支援システム「創・ゆとり」シリーズ

保育所「ICT化推進補助金」対応！

保育所事務処理の“作業効率化・正確化”を応援します！

## 園-SiEN(支援)

園児の記録を統合管理します  
出席簿・保育日誌・週案・月案等を、  
現在ご利用中の書式でデータ管理  
できます！

## 財務会計2020

「新会計基準」準拠！  
シンプルに使いやすく、予算～仕訳  
～決算まで安心の、財務会計シス  
テムです

## 給与計算2020

「給与実務カレンダー」「職員一覧入  
力画面」等、便利な機能を追加して  
生まれ変わった、給与計算シス  
テムです



ISO9001・ISO27001認証 ITインテグレーター  
**株式会社 ユニテック**

〒420-0911 静岡県葵区瀬名1丁目18-33 ユニテックビル  
TEL:054-264-1111 FAX:054-264-7771

ホームページ [www.unitec.jp](http://www.unitec.jp) メールアドレス [eigyo@unitec.jp](mailto:eigyo@unitec.jp)

# PAL ANGEL

## 子ども・子育て支援制度対応・ICT補助金対象システム 「PAL ANGEL (パルエンジェル)」

ICカードで簡単操作の登降園管理、園務日誌、保育計画、報告書等、多様化する 保育園の  
事務作業をサポートいたします。クラウドサービスで安心です！

園の紹介、情報公開は簡単便利な  
ホームページで！  
「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が  
園のパソコンで簡単に更新できます！

簡単操作のメール配信システム  
低価格で多機能！  
「チェックインシステム」

緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲  
覧状況、受信状況も把握できます！



株式会社 **データサービスセンター**

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2  
TEL:055-972-7717 FAX:055-976-1057

<http://www.dataeast.co.jp> E-mail:[h-sanada@dataeast.co.jp](mailto:h-sanada@dataeast.co.jp)

## 編集後記

御殿場市 双葉保育園

勝又秀文  
今回も割り付けには悩みました  
が、何とか完成できました。

長泉町 このはな保育園

伊藤 悟  
今年はいよいよ東京五輪！ がんばれ日本！

富士市 すみれ認定こども園

後藤恭佑

今年も良い体験をさせていただきました。また今年も宜しくお願い致します。

静岡市 あいわ保育園 増田俊一

今年度の夏号、冬号を無事に発行することができました。来年度も宜しく願います。

静岡市 城北保育園 松田 剛

令和元年はいろんなことがありました。令和二年はきっと良い年になるでしょう。

静岡市 有度十七夜山保育園 笠井友泰

編集日に忘れ物をしてしまいましたすみませんでした。次回は気をつけます。

静岡市 草薙ふたばこども園 杉山千暁

二度目で少し慣れてきました。ミスのないように頑張ります。

島田市 六合第二保育園 平野貴久

原稿提供いただいた先生方、ありがとうございます。今回も良い冊子になりました。

袋井市 袋井ハロー保育園 鈴木 康

今年度は金メダル級の編集をめざします。よろしくお願い致します。

湖西市 真愛保育園 松浦弘太郎

今年度は保連六十周年を控え身の引き締まる思いです。頑張ります！

湖西市 おかさきこども園 鈴木静香

編集作業もご苦労様です。たくさんの方の皆さんに読んでいただけたらうれしいです。

# わんぱくひろば



## 「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。

投稿先 静岡県保育連合会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号

TEL : 054-251-8873